

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

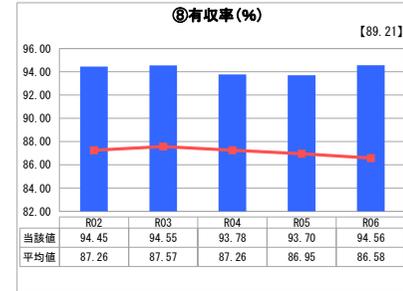
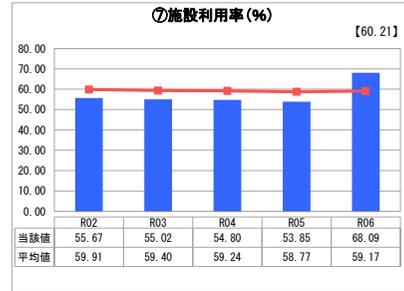
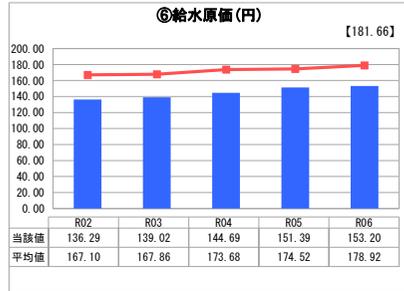
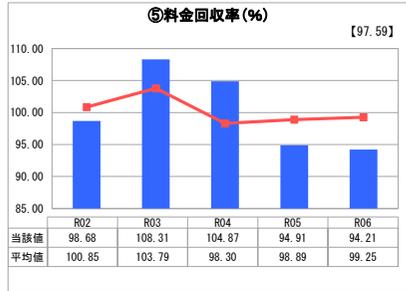
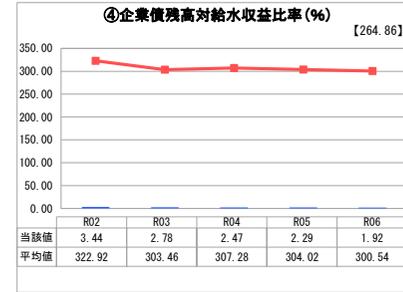
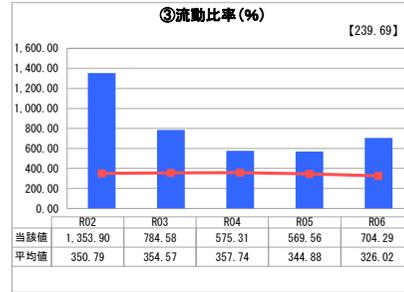
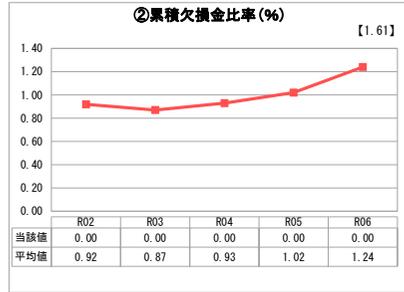
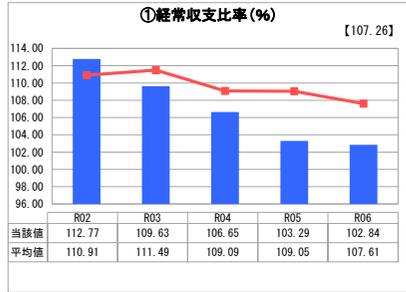
愛知県 碧南市

業務名	業種名	事業名	類似団区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	97.98	99.92	2,090	

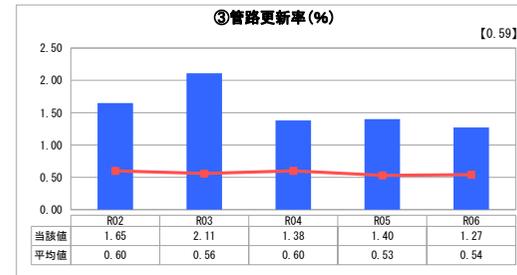
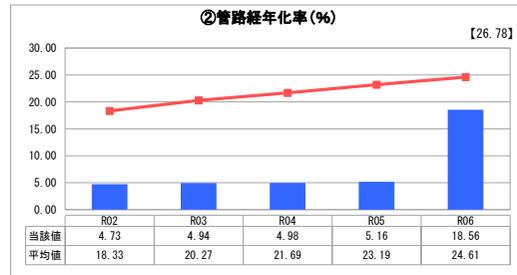
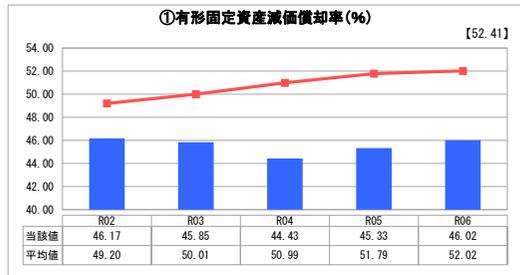
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
72,242	36.68	1,969.52
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
72,054	36.68	1,964.39

グラフ凡例
■ 当該団体の値(当該値)
— 類似団体の平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、給水収益の減少、物価上昇による経費の増加及び設備の大規模更新工事に伴う減価償却費の増加により前年度より下降したが、健全経営の水準とされる100%を上回った。  
 しかしながら、類似団体平均値を下回っているため、経費削減等の経営改善に取り組む必要がある。  
 ②累積欠損金は発生しておらず、③流動比率についても、類似団体平均値を上回っており経営の健全性は保たれていると考えられる。  
 ④企業債残高対給水収益比率については、新たな借入を行わず、企業債に依存しない経営が行われている。  
 ⑤料金回収率は、100%を下回っているが、物価高騰対策により水道料金基本料金の減免を実施したことにより給水収益が減少した影響である。  
 ⑥給水原価は、類似団体平均値を下回っているが、有収水量の減少及び物価上昇等による経常費用の増加に伴い、年々上昇している。  
 ⑦施設利用率は、遊休状態であった第1配水場を機能廃止としたため、利用率が前年度より上昇した。今後も水需要の動向を慎重に見極めた上で施設規模の見直しを含めた効率的な運営計画を検討していく。  
 ⑧有収率は、高水準を保っており、引き続き、漏水対策を実施することで、効率的な経営を行っていく。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値を大きく下回っており、施設の長寿命化や設備更新を計画的に行っているためである。しかしながら、上昇傾向にあるため、優先度や必要性の高さを見極め、中長期的な視点での更新に取り組む必要がある。  
 ②管路経年比率は、耐用年数を経過した管路の精査を実施したことにより前年より大きく上昇した。  
 ③管路更新率は、類似団体平均値を上回っているが、今後も計画的な更新を推進していく必要がある。

## 全体総括

現時点では経営の健全性・効率性は概ね確保されているが、人口減少に伴う給水収益の減少、施設の老朽化対策や物価高騰等による費用の増大など、厳しい経営が続くと想定される。  
 今後は、碧南市水道ビジョンに掲げた「安全・安心を未来へつなぐ」水道を構築すべく、経費の削減や効率的な施設運用といった経営基盤の強化を進め、持続的な経営を確保する必要がある。  
 令和6年度に改定した経営戦略では、令和8年度の赤字化を見込んでいるため、適正な水道料金のあり方について検討を行っていく。